

平成28年度

— 第17回（定例・臨時） —

教育委員会議事録

開 会	平成29年 2月15日	12時05分				
閉 会	平成29年 2月15日	13時10分				
会 議 場 所	奈良市登大路町36番地 大和ビル5階 中会議室					
委員出欠	花山院弘匡	欠	佐藤 進	出	森本哲次	出
	高本恭子	出	上野周真	出		
議事録署名	教 育 長					
委 員	教育長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議 案 及 び 議 事 内 容

<p>次 第</p> <p>議決事項 1 教育委員会事務局組織の見直し（案）について</p> <p>議決事項 2 平成29年度当初・平成28年度2月補正予算（案）について</p> <p>議決事項 3 県費負担教職員定数条例等の改正について</p> <p>議決事項 4 奈良県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について</p> <p>報告事項 1 平成29年度奈良県教育振興大綱アクションプランについて</p>	<p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>承 認</p>
<p>○吉田教育長「ただ今から、平成28年度第17回定例教育委員会を開催いたします。本日は花山院委員が欠席ですが、定足数を満たしており、委員会は成立しております。」</p>	
<p>○吉田教育長 「まず、前回の定例教育委員会議事録の承認についてです。お手元に配布している議事録について、各委員内容をご確認ください。ご承認をいただけますか。」</p> <p style="text-align: center;">※ 各委員一致で承認</p> <p>○吉田教育長 「議決事項1については組織・人事に関する案件、議決事項2から4は2月県議会上程前の案件であるため、当教育委員会においては非公開議案として審議すべきものと考えます。委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p style="text-align: center;">※ 各委員一致で可決</p> <p>○吉田教育長 「委員の皆様の議決をいただきましたので、議決事項1から4については、非公開議案として審議することといたします。」</p>	<p>承 認</p> <p>可 決</p>
<p>報告事項 1 平成29年度奈良県教育振興大綱アクションプランについて</p>	
<p>○吉田教育長 「それでは、報告事項1『平成29年度奈良県教育振興大綱アクションプラン』について、ご報告をお願いします。」</p> <p>○荒木次長 「平成29年度奈良県教育振興大綱アクションプランについてご報告します。これについては、大綱に掲げた15の方向性のうち、大学教育以外の14の施策の方向性の県教育委員会所管分について、年度ごとの主な取組と指標及び目標を示したもので、2年目の平成29年度分の策定となります。構成についてご説明します。例として3ページ、ここでは主に学びのステージの、義務教育に関する取組についてまとめています。左上の重要業績評価指標の欄には、大綱から教育委員会所管分のみ転記しています。大</p>	

議 案 及 び 議 事 内 容

綱策定から1年が経過するので、今年度から基準値の他に平成28年度の現状値を記載し、評価の欄には達成状況をAからDの4段階で示しています。各段階の説明は枠外下をご覧ください。

4ページ、『重要業績評価指標から見た現状と課題』をこの年度から新たに記載します。さらに『今年度の取組』として、大綱の主な取組の項目ごとに、平成29年度実施の事業・取組内容と指標・目標値を示します。例えば、奈良県学力・学習状況調査の実施（31ページ）と、項目名にページが書いてあるのは、大綱に掲載されているページです。また本年度から新規の取組については、朱書きしています。

これらの取組については指標も含め、取組の達成状況を点検・評価しながら実施していきたいと考えています。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見、ご質問はございませんか。」

○森本委員 「このアクションプランについて、議会との関係はどうなりますか。」

○吉田教育長 「教育振興大綱は議会に報告することになります。アクションプランは、大綱から教育委員会所管分を抜き出して31年度までの進捗管理を行うもので、議会へ報告するものではありません。」

○吉田教育長 「他にご意見、ご質問が無いようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「報告事項1については承認いたします。」

その他報告事項

○吉田教育長 「その他報告事項について、ご報告をお願いします。」

○春田生徒指導支援室長 「平成28年度奈良県児童生徒交流会の開催について、ご報告します。

1月27日金曜日の午後2時から教育研究所で開催しました。小・中・高等学校の児童生徒と地域住民の方々およそ130人に集まっていただきました。

その中で『地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成事業』、これは平成28年度は12地域で行っていますが、この取組についてのご紹介をさせていただきました。

最初は『生徒会活動等に関する表彰』の表彰式で、今年度は西の京高等学校、十津川高等学校、高取国際高等学校、西大和学園高等学校が優秀賞を受賞されました。

また活動報告として、11月7日に行いました『スマホリデー』のことについて、生徒会連絡会から連絡をいただきました。『スマホリデー』は全国的にも取り上げていただき、キンキキッズの堂本剛さんに関東地方のラジオ放送でお話いただきました。生徒がスマートフォンの扱い方を自ら考える取組で、来年度も進めて欲しいというPRがありました。

『地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成事業』については、一条高等学校から奈良市立三笠中学校、大宮小学校との連携事業について発表をいただきました。

昨年8月の野迫川村での災害ボランティア活動についても紹介させていただき、子どもたちや

議 案 及 び 議 事 内 容

地域の方々からは、単独の学校や地域で活動するのではなくて、小学校、中学校、高等学校、そして地域の方々と一緒にやることで、地域の活性化につながると意見をいただきました。」

○春田生徒指導支援室長 「第18回『小・中・高校生の未来を考える集会』の開催について、ご報告します。

特に小学校の先生は平日は参加できないので、数年前より土曜日の開催としました。そして小・中・高等学校の先生方や保護者の方々等、およそ250人に参加いただきました。

その中で、『いのちを輝かそう』を啓発する標語及びポスター入賞者の表彰式を行いました。奈良市立辰市小学校4年植田集さんの標語『おもいやり 言葉一つで つながれる』と奈良市立京西中学校3年古家花恋さんの原画を組み合わせたポスターが、今後県内の各学校や関係機関に掲示されることになりました。

また県警の少年サポートセンターから、インターネット利用に係る少年の犯罪被害防止についてをテーマに寸劇をしていただきました。

さらに、子ども同士をつなぐ学級づくりということで、郡山西小学校の池島先生から小学校の取組、ピアサポートの手法を活用した授業についてのお話をいただきました。

親子関係アドバイザーの森かほるさんからは、『いじめの加害者を作らない子育て』をテーマに講演をいただき、たくさんの方々に様々な情報を提供することができました。

課題としては、土曜日の実施であったにも関わらず、小学校の参加が少ないことから、様々な関係方面から小学校における生徒指導の大切さを啓発していきたいと考えています。」

○尾登文化財保存課長 「平成28年度文化財“体感”事業実施結果についてご報告します。

文化財“体感”事業は、昨年末にも當麻寺で行いましたが、第2回目は歩いていただくということで、遺跡を中心とした体感事業を実施しました。1月28日に、天理市の長岳寺を集合場所として、仏像を見ていただいた後、十市氏の山城である龍王山城跡や周辺の古墳等を見ていただきながら、最後は黒塚古墳まで歩いていただきました。黒塚古墳では、有名な三角縁神獣鏡が数多く出土したことで有名です。ここではレプリカに触ってもらったり等をしていただきました。

30名の募集に対して46名の応募があり、当日は36名の参加でしたが、好評に開催できたと感じています。

平成29年度以降も、このように文化財に親しんでいただけるように事業を展開していきたいと考えています。

なお前回の定例教育委員会で、県指定の史跡の件数についてご質問をいただきましたので、ご報告します。

全国の文化財指定状況（国指定）について、奈良県は総合で全国3位ですが、種別ごとでは、有形文化財・国宝・建造物の64件、また記念物・史跡の117件と、名勝・天然記念物を合わせた145件については、それぞれ全国1位です。

県指定の全国比較では、奈良県は15位です。最も多いのは岐阜県です。

国指定文化財と都道府県指定文化財の件数について比較すると、国指定については、圧倒的な件数の東京、京都に次ぐ状況ですが、県指定については（国指定との相関において）相対的に多い状況です。

京都府の場合は重要文化財も多いですが、府の指定が結構少ない状況です。来年から暫定文化財という新たな制度で候補を挙げていく取組を展開するという事です。

参考にさせていただきながら、さらに県指定の拡充につながるような文化財の保護に努めていきたいと考えています。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見、ご質問はございませんか。」

議 案 及 び 議 事 内 容

○吉田教育長 「ご意見、ご質問が無いようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「その他報告事項については承認いたします。」

○吉田教育長 「その他連絡・報告事項はありますか。」

○深田学校教育課長 「平成30年度奈良県立高等学校入学者選抜の日程についてご報告させていただきます。

入試は3回行います。2月には専門学科をもつ学校を中心とした特色選抜、3月には普通科の学科をもつ学校を中心とした一般選抜、3月後半には二次募集等を実施しています。その他、帰国生徒のための特例措置、十津川高校の連携型中高一貫教育に関するもの、大和中央高校の定時制等を併せて実施しています。

これまで県立高等学校の入試日程については、実施する年度になってから募集人員の発表と時期を併せて決定していました。ところが中学校、高等学校では年度末に次の年度の年間行事計画を立てるので、その中に確定した入試日程を位置付けられるようにするため、例年よりも半年ほど入試日程の決定を早め、通知することとしました。

また奈良県の私立高等学校関係者とも入試の日程調整を進めたところ、私立高校の入試日程の決定にあたっては県立高校の入試日程を考慮して調整しているということで、早い時期に公立高校の入試日程が決定することは、とても助かるのご意見をいただきました。

この日程については明日、週報により周知する予定です。

以上です。」

○吉田教育長 「平成29年度特色選抜の応募状況はいかがでしょう。」

○深田学校教育課長 「今回は23校59学科・コースを行いました。昨年度より学科・コースが63から59と減っています。これは吉野高等学校、奈良情報商業高等学校のくり募集で実施した等によるものです。競争率は1.21倍、昨年度は1.24倍で、若干下がっています。

全国募集について、御所実業高等学校では18名、山辺高等学校では3名の受験志願がありました。運動部に3年間属することが条件となっています。また学科・コースに強い目的意識があるということで、御所実業高等学校の薬品科学では3名、十津川高等学校の普通（工芸）は0です。」

○吉田教育長 「王寺工業高等学校は定数割れになっていますか。」

○深田学校教育課長 「機械工学が74名募集に対して97名の1.31倍ですが、電気工学が74名募集に対して66名、情報電子工学は74名募集に対して65名となっていて、2学科で割れています。」

○吉田教育長 「大淀高等学校の看護・医療コースは昨年度定員割れしていましたが、今年度は定員オーバー。キャリアデザインも同様。新しく設置した学科・コースも含めて、状況を把握して、必要なら分析等を行ってください。」

議 案 及 び 議 事 内 容

○深田学校教育課長 「わかりました。」

非公開議案

議決事項 1 教育委員会事務局組織の見直し（案）について

議決事項 2 平成29年度当初・平成28年度2月補正予算（案）について

議決事項 3 県費負担教職員定数条例等の改正について

議決事項 4 奈良県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について

非公開にて審議

○吉田教育長 「それではこれをもちまして、本日の委員会を終了します。」